

## 資料編

---

資料 1	策定委員会及び作業部会 . . . . .	1
資料 2	市民参加 . . . . .	2
資料 3	市民及び市営住宅入居者アンケートの主な意見 . . . . .	3
資料 4	意見の募集における意見概要と市の見解 . . . . .	4



## 資料 1 策定委員会及び作業部会

### (1) 江別市住宅マスタープラン見直し及び江別公営住宅ストック総合活用計画策定委員会

#### ① 構成員名簿

北海道石狩支庁産業振興部建設指導課長
総務部財務室財政課長
企画政策部参事（政策調整担当）
企画政策部企画課参事（住環境活性化担当）
企画政策部都市計画課長
生活環境部市民生活課長
経済部商工振興課長
健康福祉部福祉課長
健康福祉部参事（地域包括支援センター担当）
健康福祉部子育て支援室子ども家庭課長
建設部次長
建設部管理課長
建設部建築指導課長
建設部都心整備室都心整備課長

#### ② 開催時期及び回数

平成19年6月20日～平成21年3月19日 計6回開催

### (2) 江別市住宅マスタープラン見直し及び江別公営住宅ストック総合活用計画策定委員会作業部会

#### ① 構成員名簿

北海道石狩支庁産業振興部建設指導課建築住宅係長
北海道石狩支庁産業振興部建設指導課建築住宅係主任
総務部財務室財政課財政係長
企画政策部主査（政策調整担当）
企画政策部企画課主査（住環境活性化担当）
企画政策部都市計画課計画係長
生活環境部市民生活課市民活動係長
経済部商工振興課主査（商工振興担当）
健康福祉部福祉課障がい福祉係長
健康福祉部子育て支援室子ども家庭課児童母子係長
建設部管理課総務係長
建設部建築指導課建築指導係長
建設部都心整備室都心整備課計画管理係長

#### ② 開催時期及び回数

平成19年6月20日～平成21年3月18日 計10回開催

## 資料2 市民参加

### (1) 江別市住宅マスタープラン見直し住民懇談会

#### ① 構成員名簿 (敬称略)

委員氏名	団体等
庄司 吉辰	江別地区自治会連絡協議会
高橋 淑	野幌地区自治会連絡協議会
稗田 義貞	大麻地区自治会連絡協議会
桜田 峰子	(社)北海道建築士会江別支部
工藤 義雄	江別市高齢クラブ連合会
亀 勇	江別身体障害者福祉協会
金井 征子	江別市女性団体協議会
松井 百合子	市営住宅入居者

(順不同)

#### ② 開催時期及び回数

平成19年9月5日～平成21年3月25日 計5回開催

### (2) 市民及び市営住宅入居者アンケート

#### ① 実施期間

平成19年6月20日～平成19年7月2日

#### ② 配布数

市民 2,000人 (無作為抽出)  
市営住宅入居者 1,154人 (全入居者)

#### ③ 回答数

市民 622人 (回答率31.1%)  
市営住宅入居者 535人 (回答率46.4%)

※ アンケート結果は本編「5. 住民意向」を参照

### (3) 意見の募集 (パブリックコメント)

#### ① 実施期間

平成21年2月2日～平成21年3月2日

#### ② 実施方法

計画案を市ホームページで公表及び市公共施設で閲覧

#### ③ 意見書提出数

3人

## 資料3 市民及び市営住宅入居者アンケートの主な自由意見

### (1) 住宅に関する意見・要望

- ・高齢者が一人でも安心して住める家を作ってください。【借家・60歳代以上】
- ・子育てがしやすく、住宅や周辺環境を発展させてもらいたい。【アパート・30歳代以下】
- ・市営住宅には風呂が無いところがあるので考えてほしい。【アパート・60歳代以上】
- ・戸建て住宅のリフォームの支援を積極的に推進していただきたい。【持ち家・40～50歳代】
- ・業者へのモラル向上、並びにトラブル相談窓口の利便性を図ってほしい。【持ち家・40～50歳代】

### (2) 住宅地に関する意見・要望

- ・空き家対策を進めてほしい。【持ち家・40～50歳代】
- ・江別は雪が多いので対策を練ってほしい。【持ち家・40～50歳代】
- ・高齢者になると排雪が大変。戸建てでも安心して暮らせる対策に、もう一工夫必要。【持ち家・60歳代以上】
- ・街並みが暗い。もっと道を明るく。【アパート・40～50歳代】
- ・地球温暖化等、環境問題に配慮したものであってほしい。【持ち家・30歳代以下】
- ・レンガの街、江別を全面にアピールする家作り、街作りを推進すべきだと思う。【持ち家・40～50歳代】
- ・道路の中央分離帯の木の伸ばしっぱなし、空き地の草の伸び放題とゴミが捨ててあったりする。【持ち家・30歳代以下】

### (3) 地域社会に関する意見・要望

- ・高齢者や身体の不自由な人々が家族で住めるマンションや公営住宅等、福祉に力点を今まで以上に積極的施策を講ずるよう強く要望する。【持ち家・60歳代以上】
- ・住宅の確保も大切だが、小さな子どもからお年寄りまで気軽に行ける、充実した場やコミュニケーションがとれる場（公園など）が多くあるとうれしい。【アパート・30歳代以下】

### (4) その他の意見・要望

- ・住宅施策に対しての情報が足りない。広報等を利用して多くの情報が市民の所に届くようにしてほしい。【持ち家・60歳以上】
- ・高齢者や子どもに優しい家づくりに支援してほしい。手すりつけやバリアフリー住宅の補助など。【マンション・30歳代以下】

資料 4 意見の募集における意見概要と市の見解

区分	意見概要	市の見解
江別市住宅マスタープラン	内容が抽象的すぎる。もう少し具体性を持たせてください。	本計画は、江別市民の住宅や住宅を取り巻く住環境づくりの「道しるべ」として、住宅施策の方向性を示したもので、具体的な内容は個別の事業を実施する際に計画するものとしております。
	内容が理解しづらい。説明会などで住民の理解を深める対策を考慮してください。	
	居住者の声をきちんと聞いてUR（旧公団、現都市再生機構）と協議してほしい。	URの住宅につきましては、「6. 住宅施策の課題（3）見直し計画の方針③公的賃貸住宅の方針」にありますように、江別市にとって、今後とも継続的な運営及び現入居者の居住の安定確保が図られるべき事業と考えております。
	UR住宅にこのまま継続して居住できるよう対応してほしい。	
	UR側の計画に賛同せず、市民の立場に立って居住の安定確保をしてほしい。	これまでも各団地自治会とのお話し合いをさせていただいており、今後のURとの協議においても、入居者の皆様の居住の安定確保を図るため、自治会と連携をとりながら進めて参ります。
	UR住宅は削減せず、収入に応じた家賃で入居できるよう、URや国に働きかけることを望みます。	
	未利用宅地比率の高い野幌鉄北地区や江別鉄南地区に、札幌等の高所得世帯向けの平均1,000㎡程の緑豊かな大規模宅地の分譲を、都市計画提案制度を活用して具体化してください。	
大麻西町道警職員住宅地や大麻南樹町道職員住宅跡地に、多世代によるコミュニティ性の高い市営住宅又は道営住宅の建設を進めてください。	<p>都市計画提案制度とは、地域のまちづくりに対する取り組みを今後の都市計画に積極的に取り込んでいくため、土地所有者等の皆様が協議を行い総意の元に計画を作成し、北海道や市に都市計画の提案をする制度ですので、個別具体のご提案に応じて検討させていただきたいと考えております。</p> <p>公営住宅は、江別地区と野幌地区に市営住宅、大麻地区に道営住宅があり、市全体のバランスや地域のニーズを勘案して戸数等の検討を行っており、市営住宅につきましては江別地区（上江別）及び野幌地区（錦町）での建て替えとしております。</p> <p>また、道警や道職員住宅の跡地利用に関しましては、地域に役立つ施設の誘致等を含めたまちづくりのための多様な活用方法を、北海道と連携を深めながら考えて参ります。</p>	
公営住宅の所得制限をせず、誰もが入居出来るよう、戸数を増やすべきです。	<p>公営住宅は、住宅に困窮する方のセーフティネットとしての役割を担っていることから、国の法令（公営住宅法）で入居者資格が定められており、道営住宅と市営住宅は法令に基づいて運用しております。</p> <p>市営住宅の戸数につきましては、市の財政状況や民間との役割分担等を勘案しながら、社会情勢の変化に対応した適正な戸数を確保するよう、今後とも努めて参ります。</p>	

区分	意見概要	市の見解
江別市営住宅ストック総合活用計画	<p>地価下落率の高い江別鉄南地区は人口が更に減少するので、生活の便が悪く、立地条件の悪い（仮称）上江別団地の建設は反対です。</p>	<p>市営住宅の建設を計画している上江別の敷地につきましては、市有地を中心に市内数カ所の未利用地等における市営住宅建設の適否を検証して選定しており、近隣に商業施設や学校があることから一定の利便性が確保され、敷地面積や周辺環境、用途地域などから一定規模の団地建設が可能な市営住宅の立地に適した敷地であると考えております。</p>
	<p>立地条件の優れた大麻地区での市営住宅建設を提案します。</p>	<p>公営住宅は、江別地区と野幌地区に市営住宅、大麻地区に道営住宅があり、市全体のバランスや地域のニーズを勘案して戸数等の検討を行っており、市営住宅につきましては江別地区（上江別）及び野幌地区（錦町）での建て替えとしております。</p> <p>なお、大麻地区の道営住宅につきましては、今後においても現状の戸数が維持されるよう、北海道と協議を進めて参ります。</p>
	<p>世界的長期不況から公共投資の前倒しが要請されることから、新栄団地の建て替えは平成23年度、団地新設は平成25年度の着工を目指してください。</p>	<p>市営住宅の建替及び新設年度につきましては、現在の市の財政状況のほか、国及び北海道との協議や設計調査に要する期間を勘案して現在の計画年度としております。今後の社会経済情勢の変化や、公営住宅を取り巻く制度の改正などにより、前倒しが可能となった際には、早期の計画推進を目指したいと考えております。</p>
その他	<p>意見募集期間が短すぎると思います。</p>	<p>この度の意見募集につきましては、市が実施している他の計画における意見募集と同様の募集期間ということで設定しましたが、今後、計画を見直す際には、市民の皆様の理解度や計画の重要性を勘案し適切な期間を設定いたします。</p>

## 江別市住宅マスタープラン

---

発行年月日 平成 21(2009)年 5 月

編集・発行 江別市建設部建築住宅課

〒 067-8674 北海道江別市高砂町 6 番地

☎ 011-381-1041(直通)

